



「だより」日野町日野県賀添「」

住民のみならず議会をつなぐ広報誌



令和6年9月定例会号
(令和6年11月15日発行)



カルチャー教室と子どもたち

INDEX

みらいのアーテリスト	P2~3
委員会からの報告	P5~7
13議員一般質問に立つ	P8~21
議員のうごき	P22

9月議会
9月2日から27日に
開催された定例会および
7月16日に開催された
臨時会の結果を
お知らせします。

日野菜のPRキャラクター
あのなひのな





みらいのアーティスト

EXPRESSIVE POWER

少年少女カルチャー教室

CREATIVE

各教室の みなさんから

今号は日野町少年少女カルチャー教室をピックアップ。
前号に引き続き、議員が取材やインタビューにお伺いし、みなさんから
教室の魅力や楽しかったことなどをお聞きました。

ダンス教室

4年生から 6年生のみなさん

みんなとダンスの振付
がそろそろ楽しいで
す。この教室に入って他
の学校の人たちと友達に
なれました。大きく踊れ
るようがんばります。今
は日野町文化祭にむけて
練習しています。



いけばな教室 (左から)

- 6年生 ^{まえだ}前田 かなさん
- 6年生 ^{むこうむら}向村 紗奈さん
- 6年生 ^{さかくち}坂口 景音さん



色々な花の種類について知ることが出
来ましたし、家でも花を生けることがあり
家の雰囲気明るくなりました。

かきかた教室

2年生 ^{たなか} ^{なの} ^{のは} 田中 菜乃葉さん

この教室に入って字がき
れいになった。今までえん
ぴつの持ち方がおかしかっ
たけど、くせがなおった。
字がすらすらと書けるよう
になってうれしいです。



ひのヒストリア教室

6年生 ^の ^や ^ま ^く ^ら 野矢 桜良さん



ぼくが、ヒストリアに入ってよかったと
思うことは、知らななことを知れること
です。行ったことがある場所でも新しく知
ることがあります。また、ボードゲームや
何かをつくることがあるので楽しいです。

手芸教室

4年生のみなさん

手芸教室に入って、自
分自身で手芸が出来るよ
うになった事が良かった。
作っているものが出来あ
がった時は楽しいです。



ピックアップ! 미래のアーティスト

次ページは

提出された議案と結果 / 委員会からの報告

フラダンス教室 (左から)

6年生 ^{はやし ゆい} 林由依さん

5年生 ^{たけむら なな} 竹村奈々さん



フラダンス教室に入って良かったことは、自分の好きな曲が見つかった時や難しい振付ができた時にうれしい気持ちと達成感があることです。

^{ちやどろ} 茶道教室 (左から)

6年生 ^{いけなが にこ} 池永笑虹さん

6年生 ^{むこうむら さな} 向村紗奈さん



覚えることが多く難しいですが、今では家でお抹茶をたてることもできまし、何より自分で決めて行動できるようになりました。

HIP HOP DANCE教室 (左から)

6年生 ^{はしもと あいら} 橋元愛空さん

6年生 ^{なかい ゆずき} 中井柚稀さん



ダンスを踊ることが好きでカッコいいから始めました。いろいろな振りが覚えられて楽しい。また、人と協力することができるようになった。今はとても楽しく、HIP HOPをずっと続けていきたい。

各教室のお問い合わせは【日野町文化協会】まで



提出された議案と結果

○賛成 ×反対

*議長は議事進行を行うため賛否表明はしません。賛否同数のみ「議長採決」として表明します。

第5回臨時会 (7月16日)

●全員賛成とした案件

番号	議員提出議案
議第49号	予算特別委員会の委員の定数の変更について
議第50号	議会改革特別委員会の委員の定数の変更について
議第51号	空家対策特別委員会の委員の定数の変更について
選第2号	常任委員の補欠選任について
選第3号	予算特別委員会の委員の追加選任について
選第4号	議会改革特別委員会の委員の追加選任について
選第5号	空家対策特別委員会の委員の追加選任について
選第6号	滋賀県後期高齢者医療広域連合議会の議員の選挙について

●賛否が分かれた案件

番号	町長提出議案	結果	錦戸	福永	谷口	松田	柚木	川東	野矢	山本	高橋	加藤	後藤	中西	西澤	*杉浦
議第48号	令和6年度日野町一般会計補正予算 (第4号)	原案可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○

物価高騰対応重点支援事業 (調整給付) において、定額減税の恩恵を十分に受けられない納税義務者に対し、その差額を調整給付として支給。令和6年度住民税額の決定に基づく所要見込額の再算定に伴い、予算額に不足が生じることから、必要となる経費を増額補正するもの。

【反対討論】 5月の臨時会に提案された物価高騰対応重点支援事業 (調整給付) を含む補正予算は場あたりのなものであり、評価できるものではないと反対をした。今回も5月補正との関連があること、また自治体職員や企業に膨大な負担が発生するという問題がさらに明らかになったため反対する。

【賛成討論】 職員の負担はたしかにあるが、今回の補正予算は物価高騰という課題に答えようとするものであり、今困っている人に一日でも早く手をさしのべることが議員の本分であるため賛成する。

提出された議案と結果

○賛成 ×反対

*議長は議事進行を行うため賛否表明はしません。賛否同数のみ「議長採決」として表明します。

第6回定例会（9月2日～27日）

議案審査を付託された委員会

【予算】 予算特別委員会

【総務】 総務常任委員会

【産建】 産業建設常任委員会

【厚生】 厚生常任委員会

● 全員賛成とした案件

番号	町長提出議案	付託先
議第52号	人権擁護委員の候補者の推薦について	—
議第53号	人権擁護委員の候補者の推薦について	—
議第54号	人権擁護委員の候補者の推薦について	—
議第55号	日野町教育委員会委員の任命について	—
議第56号	日野町空家等の適切な管理に関する条例の制定について	産建
議第57号	日野町税条例の一部を改正する条例の制定について	総務
議第59号	令和6年度日野町一般会計補正予算（第5号）	予算
議第60号	令和6年度日野町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	厚生
議第61号	令和6年度日野町介護保険特別会計補正予算（第1号）	厚生

番号	議員提出議案
議第69号	決算特別委員会の設置について
選第7号	決算特別委員会の委員の選任について

● 賛否が分かれた案件

番号	町長提出議案	付託先	結果	錦戸	福永	谷口	松田	柚木	川東	野矢	山本	高橋	加藤	後藤	中西	西澤	*杉浦	
議第58号	日野町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	厚生	原案可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	/

令和5年6月に公布された行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律（マイナンバー法）等の一部を改正する法律により、令和6年12月2日から被保険者証の新規発行が廃止され、個人番号カードと健康保険証の一体化を基本とする仕組みに移行することに伴う日野町国民健康保険条例の一部を改正するもの。

【反対討論】 12月2日以降は従来の健康保険証は新たに発行しないとのことだが、保険税の徴収を続けるのであれば、保険証を交付することは当然である。マイナンバーカードおよびマイナ保険証の取得は任意のものである。しかし、資格確認書を発行するには基本的には申請が必要となるため、現行健康保険証の廃止はマイナ保険証への実質的な強制につながるのではないかと懸念する。実質的にマイナ保険証の強制につながることを前提とした条例改正には反対する。

【賛成討論】 この条例改正は、国のマイナンバー法等の一部改正によるものであり、改正内容もマイナンバーカードやマイナ保険証の取得を強制するようなものではない。今後、マイナ保険証の交付にあたっては、正しい理解を得られるように、さらなる情報発信や丁寧な説明が必要だと考えるが、今回の条例の一部改正は必要なものである。

● 閉会中の継続審査となった案件 付託先：決算特別委員会

番号	町長提出議案
議第62号	令和5年度日野町一般会計歳入歳出決算について
議第63号	令和5年度日野町国民健康保険特別会計歳入歳出決算について
議第64号	令和5年度日野町介護保険特別会計歳入歳出決算について
議第65号	令和5年度日野町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算について
議第66号	令和5年度日野町西山財産区会計歳入歳出決算について
議第67号	令和5年度日野町水道事業会計決算について
議第68号	令和5年度日野町下水道事業会計利益の処分および決算について

決算特別委員会
▽委員長…山本秀喜
▽副委員長…柚木記久雄
▽開催日…10月25日、29日、30日

予算特別委員会

住民要望の高い道路の維持補修等に予算を計上

付託議案

●議第59号 令和6年度日野町一般会計補正予算(第5号)

今回の補正予算では、物価高騰対策および国民スポーツ大会の開催に向けた運営経費、ならびに各地区の行政懇談会等における住民要望の高い道路の維持補修の経費など、必要性の高い事業に対して予算措置が講じられました。今回提案された補正の主なものは下記表のとおりです。

《補正の主なもの》

事業名	経費の内容	補正予算額
道路維持補修事業	行政懇談会等における要望事項である道路維持補修経費	3,450万円
交通安全施設対策事業	交通安全確保に必要な区画線、カーブミラー等の設置	960万円
鉄道対策事業	日野駅前混雑緩和等、駅利用者の利便性向上のため、駅隣接土地の取得・整備に要する経費	1,240万円

質疑・討論・採決

当初予算に計上されていた必佐小学校の耐力度調査にかかる経費の減額補正はなぜ行うのかという質問のほか、大谷公園プール跡地の整備と国スポでの利用の仕方について、また、国スポでメインとなる軟式野球に使用する野球場の整備状況について、その後改善はすべて完了しているのか、といった質問が出され、各々担当課より答弁がなされました。

反対討論なく採決を行い、全委員賛成で可決すべきものと決しました。



総務常任委員会

町のスポーツ振興と国スポ開催の課題に対する改善状況を確認

付託議案

●議第57号 日野町税条例の一部を改正する条例の制定について

公益信託制度の見直しに伴い、所得税の寄付金税額控除の対象を公益信託の信託事務に関連する寄付金に改めるため、所得税法が改正され、これに伴い引用条文の整理を行うもの。

質疑・討論・採決

反対討論なく採決を行い、全委員賛成で可決すべきものと決しました。



調査・研究

日野町のスポーツ振興について改善状況を確認

大谷公園、大谷体育館の施設整備や運営状況、管理面などについて確認を行いました。

国スポ・障スポ開催の課題に対する改善状況を確認

大谷公園野球場の施設整備の状況、国スポ・リハーサル大会の準備、軟式野球を盛り上げる工夫、スポーツふれあいエリアでの催し物など確認を行いました。

デジタル田園都市国家構想交付金事業で500万円以上の案件の進捗状況を確認

「わたむき自動車プロジェクト」地域公共交通の再編検討、「チョイソコひの」の実証実験運行や古地図の電子化の実施状況を確認しました。

産業建設常任委員会

空家等の適切な管理に関する条例が成立

付託議案

●議第56号 日野町空家等の適切な管理に関する条例の制定について

空家等対策の推進に関する特別措置法に定めるもののほか、空家等の適切な管理に関して必要な管理を定めるもの。

質疑・討論・採決

「緊急措置を講じたときは・・・費用を徴収することができる」について質問があり、実際にはかなり難しいと回答がありました。また、単身で相続人もない方が亡くなられた場合は、町で調査などするが、全くいなくてもすぐに国に帰属するわけではないと答弁がありました。

反対討論なく採決を行い、全委員賛成で可決すべきものと決しました。



調査・研究

日野町の特産品について ～その歴史、特色、現状と将来展望など～

提出された資料 近江日野おみやげカタログ／日野町の特産品（農畜産物等）について

日野菜、近江牛、地酒、北山茶、でっち羊羹などの特産品の現状と将来展望について、担当課と意見交換を行いました。

委員からは、生産者は個人であっても「公」の力をどのように入れていくかが大事である。特産品には歴史やいわれがあり、途絶えることのないよう行政としても支援していくべき、との意見が出ました。

厚生常任委員会

保険証新規発行廃止に伴う条例改正案

付託議案

●議第58号 日野町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について

いわゆるマイナンバー法の改正により令和6年12月2日から現行の被保険者証の新規発行がされなくなることに伴い、国民健康保険法も文言整理のため改正され、日野町も合わせて条例を改正しようとするもの。

※マイナンバーカードを健康保険証として利用しない場合は、資格確認書が発行され従来通りの対応となる（期限未定の経過措置）

質疑・討論・採決

反対討論：マイナンバーカードの作成は任意であり、強制ではない。マイナンバーカードを持つことを前提とした改正には反対である。

賛成討論：今回の条例改正は国の法律改正に合わせたものであるので賛成である。マイナ保険証への移行は任意なので個人の判断ではあるが、町行政には広く丁寧な説明を望む。

議第58号 賛成多数で可決すべきものと決しました。

議第60号 議第61号 反対討論なく採決を行い、全委員賛成で可決すべきものと決しました。

調査・研究

滋賀県の医療構想と日野町の医療機関の現状について



空家対策特別委員会

空家対策に関する県や近隣自治体の補助制度等の取組みを知る

報告

「日野町空家等の適切な管理に関する条例」について建設計画課からの説明を受ける

調査・研究

空家の現状と国の補助制度、県、近隣自治体の取り組み事例

1. 講演「滋賀県の空き家対策について」滋賀県土木交通部 住宅課 企画係長 田内 徹 氏
2. 質疑・応答

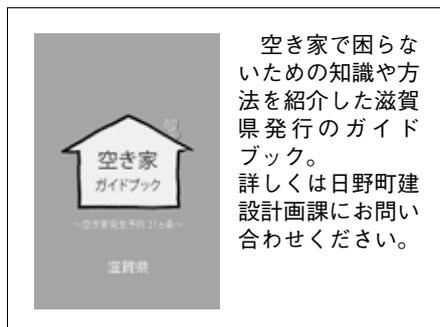
空き家で困らないために・・・

空き家は、放置すると劣化し、資産価値も下がります。近隣にも迷惑をかけ、税金も上がります。対応が遅れると、さらに問題が悪化します。困らないためには、すぐに対応すること。

- いずれ空き家を持つなら、備えを。
- 使う予定がある空き家は、管理を。
- 使う予定のない空き家は、処分を。

(滋賀県 空き家ガイドブックより)

※委員会閉会后、NPO法人日野まちつなぐ研究所の川村のり子事務局長も交え、空家利活用に関する官民連携についての意見交換会を開催しました



議会改革特別委員会

～調査研究実践改善「前進する議会」～

<議会内PT（プロジェクトチーム）の進捗報告> 閉会中も調査研究を継続しています

ICTチーム（後藤、中西、柚木）

目的: デジタル活用により議会力向上と効率化を図る

タブレット導入を決定!

➡ 今後は活用の研修をおこなう。

通年議会チーム（山本、加藤、高橋、谷口）

目的: 緊急時でも迅速に対応できる議会の体制を整備する

議員アンケートの実施 ➡ PTでまとめる。

待遇改善チーム（川東、西澤、松田、福永）

目的: 議員活動と暮らしを両立できる待遇を目指す

全国町村議会議長会から全国町村会への要請活動の情報を共有

➡ 全国の市議会議員における首長と議員報酬比および

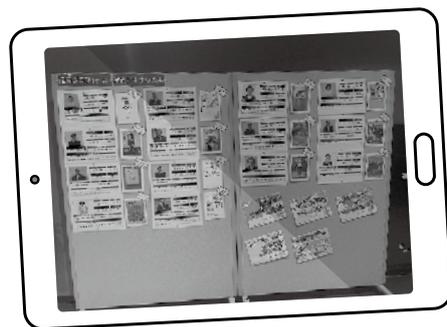
町村議会議員の活動内容を踏まえた原価方式の検討。

広報広聴チーム（野矢、福永、谷口、錦戸）

目的: 住民の意見を収集し政策へ反映しやすくする

・ 議会PR展は役場4階議会フロアに展示中。

・ 一般質問動画の再生速度について早送りなどが可能になるよう調整、YouTube化を検討。



主な仕様

- ・ iPad10.9インチ
- ・ キーボード付きカバー
- ・ SideBooks
(文書共有システム)

令和6年9月 一般質問内容および発言順序

町政全般に関する方針や事業について、
13人の議員が一般質問を行いました。

発言順序・氏名	質問内容	ページ
1 野矢 貴之 <small>の や たかゆき</small>	1 地域の支援機関として公民館のリソース確保は？ 2 地域のあり方検討に、モデル地区を選定しては？	P. 9
2 川東 昭男 <small>かわひがし あきお</small>	1 少子化対策・子育て支援について 2 自治会の活性化について	P.10
3 西澤 正治 <small>にしざわ まさはる</small>	1 食料の確保と農地の保全	P.21
4 高橋 源三郎 <small>たかはし げんざぶろう</small>	1 区長の仕事をもっと簡素化できないか 2 少子化対策に有効な施策の模索を	P.11
5 錦戸 由佳 <small>にしんど ゆか</small>	1 幼稚園・保育園の安全対策について 2 ひの若者会議(仮)の今後の展望について	P.12
6 福永 晃仁 <small>ふくなが あきひと</small>	1 青年・若者の生き方と地域活動を通じたひとづくり 2 「人とまちを結び」日野駅と商いのこれから	P.13
7 山本 秀喜 <small>やまもと ひでき</small>	① 堀江町政のまちづくり…若い世代に向けた宅地開発は？ ② 日野町の環境施策「生ゴミ堆肥化事業」について 3 「誰もが安心・元気で長寿」の町に向けて 4 「水田活用の直接支払交付金」5年に1度の水張りルールについて	P.14
8 松田 洋子 <small>まつだ ようこ</small>	1 小規模保育所の必要性について 2 国民健康保険税の引下げについて	P.15
9 柚木 記久雄 <small>ゆき きくお</small>	1 その日が来たとき 避難所やボランティアセンターは 2 今後の消防団加入者のために	P.16
10 中西 佳子 <small>なかにし けいこ</small>	1 「マイナンバーカード」「マイナ保険証」について 2 認知症の人に寄り添った社会の構築について	P.17
11 加藤 和幸 <small>かとう かずゆき</small>	① 「質・量ともに子育てしやすい町」など町長2期目の公約について何う ② バス路線化断念後の通勤対策は進んでいるか わたむき自動車プロジェクトについて(その8) 3 人事院勧告の完全実施について	P.18
12 谷口 智哉 <small>たにくち ともや</small>	① 6月から「働き方改革」は進んでいるのか 2 公民館が今よりもっと身近な存在になるように出来る事はないか ③ 保育士の職場環境の改善は検討されているのか	P.19
13 後藤 勇樹 <small>ごとう ゆうき</small>	1 移住定住施策を含め空家施策を横断的に扱う部署の設立を ② 文化財の保存活用に広く利用できる基金の創設を ③ マイナンバーカードに町独自の機能付加で、利活用促進を	P.20

議会だよりでは、3つ以上一般質問がある場合、
スペースの関係で○のついた番号の質問と答弁を掲載しています。
本会議の様をインターネットで配信しています。

(ライブ中継・録画中継)

一般質問において議員が使用した資料をインターネットでご覧いただけます。



上の二次元コードを読み取ると
一般質問の録画が視聴できます。



問 地域の支援機関として公民館の資源確保は？

答 集落支援員を選択肢の1つとして検討している



野矢 貴之 議員

問 教育の総合計画
ともいべき教育
振興基本計画(第4期)で
は社会教育の重要性が明
文化され、施策に反映さ
せる計画になっている。

答 ウェルビーイン
グの向上や地域コ
ミュニティの基盤を支え
るために、住民の社会教
育を通じた学びが重要で
ある。社会教育士には地
域の学びコーディネータ
ーとして活躍を期待する。
当町のコミュニティスク
ールについては公民館が
社会教育視点を持ち関わ
っている。その他の団体
も公民館が社会教育の役
割を担い関わっている。
公民館を核としたコミ
ュニティは同感である。
リソースの確保として集
落支援員や地域おこし協
力隊は選択肢の1つとし
て検討をしている。

公民館が学びの中間支
援を担うとすれば、リソ
ースを確保するためにも
集落支援員や地域おこし
協力隊の制度を活用し、
機能強化を実施してはど
うか？

公民館が学びの中間支
援を担うとすれば、リソ
ースを確保するためにも
集落支援員や地域おこし協
力隊は選択肢の1つとし
て検討をしている。

問 堀江町長2期目
の取り組みとして
「自治会運営の事例を共
有し、今後の地域のあり
方を検討する。活性化に
取り組む自治会への支援を
おこなう。」と明言されて
いる。事実、日野町の各地
で、暮らしの多様化や人
口減少に伴った、担い手
不足と維持困難な問題が
多くある。しかし、今まで
行政は、地域の自治のあ
り方に積極的に関与する
ことをしてこなかった。
そのような困難を承知で
「地域のあり方検討」を重
点取組に挙げた理由は何
なのか？具体的には何を
するのか？

答 地域によっては、
会活動の後押しをしてい
きたい。
これからの地域のあ
り方を検討するにあた
り、地元の方だけでなく
コーディネートをできる
存在も必要だと感じてい
る。また、多くの自治会を
同時に進めるのは難しい。
まずはやってみようとい
う地域から成果を出す方
が良いと検討している。
モデル地区や手上げ方式
で取り組み、自治会を選
定して取り組んでいくこ
とは重要なことだと思う。

問 地域のあり方検討に、モデル地区を選定しては？

答 モデル地区や手上げ方式で取り組むことを検討している



- ▲集落支援員とは
集落の維持・活性化のため
- ①集落の巡回・状況把握
 - ②住民同士の話し合いの促進
 - ③地域組織や活動のサポートを行う専門職のことです
- ※画像は総務省HPより

まずはやってみる、と
いうことが大切だと考え
る。モデル地区を選定す
るなどして、具体的な検
討をはじめてみてはどう
だろうか？

- ①講演会開催、自治会相
互の情報共有、話し合え
る機会づくり
 - ②「役」の整理により負担
軽減につながる
 - ③活動内容の見
直しを実施する
際の(金銭的や
集落支援員など
の人的な)補助
制度の検討
 - ④困りごと相談
アドバイザーの
配置を研究
- これらの取り
組みにより自治



▶地域組織すべての役や行事の棚卸
しをしよう！



問 少子化対策・子育て支援について

答 幼稚園は3園に再編。新幼稚園は基本構想を策定後に「子ども未来戦略会議」を立上げ。小規模保育所は鎌掛分園で



かわひがし あきお 川東 昭男 議員

問

二期目の町長公約として「新こども園の建設をはじめ、幼児教育・保育体制の整備を行う」庁内に子ども未来戦略会議を立ち上げ、新たな取り組みを進める」としています。

①「日野町幼児教育保育の在り方懇話会の提言」がこども園2園に対して、町は3園としています。数が違うのはなぜか。また、施設の再編整備における「地域分け」や町の財政課題について、どのようにお考えか。

②「日野町認定こども園整備基本構想委託業務」について、こども園の規模や候補地についてどのように考え、発注されたのか。
③「役場庁舎内」に、こども未来戦略会議を立ち上げ、全庁あげた少子化対策・子育て支援策に取り組み」とされている「新たな取り組み」とは何か。
④0歳児から2歳児の子どもを保育する「小規模保育所」について、保育士



▲あおぞら園鎌掛分園

不足の状況の中、地元で保育士を募集されるのかどうか。また、地元鎌掛地区との協議をされたのか。

答

①今後の人口推移や低年齢児等の希望者の増加、既存施設の集約化による財政課題を含めた3園にする。地域分けは全町一つとする。

②新こども園の規模や整備用地の検討など、具体的な協議はこれから。
③職員の提案内容を「短期的」「中期的」「長期的」に仕分けし、来年度当初予算から実施していく。

④一般社団法人「未来会」が、あおぞら園鎌掛分園で開所に向けて準備中。保育士募集は、法人が行う。地元鎌掛運営会に説明し、良い印象を得ている。

問

「役」の整理基盤は難しい。改革を進める自治会に補助制度を検討

問

各自自治会では、人口減少、少子高齢化、若者の転出などにより、自治機能の低下、草刈り等の共同作業への支障や伝統行事の継承などに加え、消防団員の確保、空き家の問題、役員の手不足等、様々な問題や課題を抱えています。また、農業の担い手、獣害対策など課題は枚挙にいとまがありません。

「役」の整理についての考え方は？
③改革を進める自治会には、町から人的・物的支援を行うことは？
④地域や自治会に対する行動計画など具体的な取組方針について、現状での思いや町民の皆さんへの協力要請など考えは？

答

①今年度は、講演会を開催する。出前講座の見直しを検討する。

②役目を終えたものや「役」の目的を維持しながら人数や、選出方法に関係課で整理する。再質問の「基準は何か」については、難しい。
③まず、各自自治会の現状把握を行い活動内容の見直しをされる自治会に補助制度を検討する。アドバイザー的な人材配置は研究する。
④それぞれの自治会の活動を尊重しながら、住

町長公約の「持続可能な地域づくり」を町と地域が一体となって取り組みを前進させるため、各地区、自治会への話し合いを一日も早く始めていただきたいと思えます。そこで、町長公約として言葉にされている以下の点について伺います。
①課題を話し合える場や先進事例研修などの機会を増やす取り組みとは？
②役場や地域が願います

民の豊かな生活の下、自治会活動が持続されていくために、住民の機運を高めながら共に考えていきたい。

◆質問を終えて

町長公約の二つの課題。子育て支援については、幼保の再編整備を町民にいつ説明されるのか。「こども未来戦略会議」が、しっかり役割を果たし、来年度予算にどのように反映させるのか。注目したい！

自治会の活性化については、問題意識はあっても具体的な方策や基準はなく「言葉で励ましてもらっている」そんな感じがしてならない。まずは、7地域に向き、各区長さんとの話合いから始めていただきたい。

そこには、具体策が潜んでいるのではないか。

区長の仕事をもっと簡素化できないか

答 会費等の集金方法はそれぞれの自治会のやり方で協力をお願いしたい



たかはし げんざぶろう
高橋 源三郎 議員

問

区長の仕事の1つに役場等から毎月2回くる文書の配付仕分けがあります。これは区長の仕事として重要な仕事だと思えます。

年度初めの4月から6月にかけて、町内の各種団体から会費や協力金等の集金事務の依頼が、袋を添えてあります。私が

住んでいる蓮花寺区の場合、納税係が納税日に集めてくれるものも幾つかありますが、多くは区長が組長を通じて集金袋を配り、組長がお金を集めて区長へ持参していただいています。

こうしてお金を手渡しで受け取り、集まったお金は各団体の事務局へ区長が届けています。

ここで1年間にどういう会費等があるかを述べますと、当区の場合、「日野町社会福祉協議会費」「日本赤十字社活動資金」「日野町スポーツ協会協力金」「日野町手をつなぐ育成会協力金」「西桜谷公

民館協力費」「西桜谷まちづくり協議会協力費」「桜谷小学校教育後援会費」「桜谷小学校同窓会費」の8つがあります。また、募金の依頼としては「緑の募金」「赤い羽根共同募金」「歳末たすけあい募金」の3つがあります。

これらの内、募金は個人の善意によるものです。が、その他の会費等については、区が一括して扱うことができるのではないかと思います。

そこで、年度始めに8つの会費等を一覧表にして各世帯に配付し、その世帯が納めようと思うものを選び、その分のお金を区の納税日に一括して納めれば、町内全世帯8,800以上の集金袋は不要になりますし、各種の納付も区の納税日に1回で済みます。

これだけでも各区の区長の手間は相当軽減できると思いますが、このことに関し当局はどのように思われるか伺います。

答

区長や自治会長には、行政と地域をつなぐ要として重要な役割を担っていただいていることに感謝いたします。

ご提案の集金方法も区長の負担軽減の一つだと思いますが、会費や協力金の目的や性質から、集金方法はそれぞれの自治会のやり方でご協力をお願いします。

区長や自治会長には、行政と地域をつなぐ要として重要な役割を担っていただいていることに感謝いたします。

ご提案の集金方法も区長の負担軽減の一つだと思いますが、会費や協力金の目的や性質から、集金方法はそれぞれの自治会のやり方でご協力をお願いします。

区長や自治会長には、行政と地域をつなぐ要として重要な役割を担っていただいていることに感謝いたします。

ご提案の集金方法も区長の負担軽減の一つだと思いますが、会費や協力金の目的や性質から、集金方法はそれぞれの自治会のやり方でご協力をお願いします。

区長や自治会長には、行政と地域をつなぐ要として重要な役割を担っていただいていることに感謝いたします。

ご提案の集金方法も区長の負担軽減の一つだと思いますが、会費や協力金の目的や性質から、集金方法はそれぞれの自治会のやり方でご協力をお願いします。

区長や自治会長には、行政と地域をつなぐ要として重要な役割を担っていただいていることに感謝いたします。

問 少子化対策に有効な施策の模索を

答 課税は公平公正を原則、公共料金は受益者主体が公平であることが基本と考える

問

日野町の少子化対策は国同様、重要な課題となってきたいます。それゆえ、今後さらなる取り組みの対策が必要で、年間出生数が減少してきている今、この問題を解決するためには、最初に結婚問題があり、最初結婚問題が元々の原因は「結婚率の低下」であり「未婚者の増加」にあると言われているから

です。民間の統計調査によると、既婚者の子ども数は1組の夫婦あたり2.0人を超えているとの結果があります。それゆえ、独身男女の増加がこの数

字を引き下げている訳です。また次には、結婚後の「出産に対する支援」や「子育てに対する支援」も重要です。

そこで次の点について町の考えを伺います。

① 婚活事業として、公民館等での取り組みも必要だが、行政レベルでの取り組みもお願いしたい。

② 平成24年度から児童手当が支給されているが、この時、住民税では子どもの扶養控除が廃止された。私はこれを復活させ、第1子40万円、第2子60万円、第3子以降それぞれ80万円の扶養控除を設けてはどうかと考えま

ご提案の集金方法も区長の負担軽減の一つだと思いますが、会費や協力金の目的や性質から、集金方法はそれぞれの自治会のやり方でご協力をお願いします。

区長や自治会長には、行政と地域をつなぐ要として重要な役割を担っていただいていることに感謝いたします。

ご提案の集金方法も区長の負担軽減の一つだと思いますが、会費や協力金の目的や性質から、集金方法はそれぞれの自治会のやり方でご協力をお願いします。

ご提案の集金方法も区長の負担軽減の一つだと思いますが、会費や協力金の目的や性質から、集金方法はそれぞれの自治会のやり方でご協力をお願いします。

ご提案の集金方法も区長の負担軽減の一つだと思いますが、会費や協力金の目的や性質から、集金方法はそれぞれの自治会のやり方でご協力をお願いします。

ご提案の集金方法も区長の負担軽減の一つだと思いますが、会費や協力金の目的や性質から、集金方法はそれぞれの自治会のやり方でご協力をお願いします。

ご提案の集金方法も区長の負担軽減の一つだと思いますが、会費や協力金の目的や性質から、集金方法はそれぞれの自治会のやり方でご協力をお願いします。

ご提案の集金方法も区長の負担軽減の一つだと思いますが、会費や協力金の目的や性質から、集金方法はそれぞれの自治会のやり方でご協力をお願いします。

ご提案の集金方法も区長の負担軽減の一つだと思いますが、会費や協力金の目的や性質から、集金方法はそれぞれの自治会のやり方でご協力をお願いします。

ご提案の集金方法も区長の負担軽減の一つだと思いますが、会費や協力金の目的や性質から、集金方法はそれぞれの自治会のやり方でご協力をお願いします。

ご提案の集金方法も区長の負担軽減の一つだと思いますが、会費や協力金の目的や性質から、集金方法はそれぞれの自治会のやり方でご協力をお願いします。

区長や自治会長には、行政と地域をつなぐ要として重要な役割を担っていただいていることに感謝いたします。

ご提案の集金方法も区長の負担軽減の一つだと思いますが、会費や協力金の目的や性質から、集金方法はそれぞれの自治会のやり方でご協力をお願いします。

答

子育て支援として、税の控除や公共料金の減額についての質問ですが、課税においては公平公正を原則としています。また公共料金に関しても、受益者全体が公平であることが基本と考えています。よって、税の控除や公共料金の減額は考えていません。

子育て支援として、税の控除や公共料金の減額についての質問ですが、課税においては公平公正を原則としています。また公共料金に関しても、受益者全体が公平であることが基本と考えています。よって、税の控除や公共料金の減額は考えていません。

子育て支援として、税の控除や公共料金の減額についての質問ですが、課税においては公平公正を原則としています。また公共料金に関しても、受益者全体が公平であることが基本と考えています。よって、税の控除や公共料金の減額は考えていません。



にしき 錦戸 由佳 議員

問 幼稚園・保育園の安全対策について

答 近隣市町を調査、参考に研究をする



問

南海トラフ地震
臨時情報が発表さ

れ、町内でも有事の際に
備えなければならず、幼
稚園・保育園での事故も
後を絶たず幼い子どもが
犠牲になっていることも
事実である。

①園での防災対策につい
て、園庭が使用不可とな
った場合の小学校との連
携は。

今後、防災頭巾やヘル
メット等の導入の検討は。
②斜めがけ水筒による事
故対策として通園リュッ
クの導入は。

③園での防犯対策につい
て、園内への侵入が容易
であり、不審者対策用の
道具類も少ないが、具体
的な対応策は。

答

①小学校との連携
については、年一
回、想定した訓練を行い、
小学校、公民館、近隣の企
業等に避難できるような依
頼をしている。

防災頭巾、ヘルメット等
の導入については、有効な
手段であるが、子どもへの
配慮、保護者の理解、協力
も必要であり、近隣市町の
状況の調査、子どもへの影
響を考慮し研究していく。

②斜めがけ水筒による事
故対策については、子ども
に伝わるよう動画などを
使い引き続き安全指導、教
育に努めていく。

通園リュックの導入につ
いては、合理的と判断し導
入をしている市町もある
為、今後、近隣市町の状況
等を参考に検討していく。

③具体的な防犯対策は、職
員室等から来訪者を確認す
るために園の出入り口を統
一したり、防犯カメラの設
置をしている。地震や火災、
不審者が侵入した場合の対
策は、毎年見直しをしてい
るマニュアルに基づき訓練

問

ひの若者会議(仮)の今後の展望について

答 参画メンバーと議論し活動が充実するよう進めたい

問

ひの若者会議
(仮)は次世代を担

う若者が「楽しさをベ
ー」に「日野町にいいアイ
デアを具体的なアクション
に繋げていく為の集ま
りです。令和3年3月、22
名のメンバーで活動を開
始し、3年が過ぎ、活動に
区切りをつけた部活があ
るが今後について伺いま
す。

①参画メンバーの限定化
について、若者会議の告
知、メンバー募集含め今
後の計画は。

②目指すゴールの具体的
な着地点は。

◆質問を終えて

日頃から人手不足の中、子どもたちを見て頂いており、その状況の中で有事の際によりスムーズな行動が出来るよう、今一度見直しして頂きたいと思います。

私たち親世代も意識を高く持ち、先生方と上手く連携を取りながら過ごして行くことが大切だと思いました。

答

①活動の告知は今後も定期的

に広報等

をしてい

きながら、

活動の楽しさをも

っとアピールし新

規メンバーの加入へ繋げていけるよう今後

も運営会議で議論していき



問 青年・若者の生き方と地域活動を通じたひとづくり

答 青年・若者と向き合い、希望を持って生きていけるまちをめざします



ふくなが あきひと
福永 晃仁 議員

問 先日、日野町をメ
イン会場として第
72回滋賀県青年大会が開
催され、約50名の若者が運
営に関わりました。その中
で感じた若者の成長と主
体性。自分事として捉え、協
働しながら物事を進めて
いくことの重要性和その
後の地域における可能性。
青年教育の歴史とともに
70年余りにわたり持続し
てきた青年団活動の意義。

① 現在の国・県・当町が取り
組む青年・若者世代への
施策は。
② 今を生きる青年・若者
は当町にとってどのような
存在であるか。また、今
後のアプローチは。

答 ① 昨今の社会情勢
を踏まえて「子ど
も・若者育成支援推進法」
「淡海子ども・若者プラン」
に加えて、国の教育振興基
本計画にも記されている
「持続可能な社会の創り手
の育成」「日本社会に目指
したウェルビーイングの
向上」を意識しながら社会
教育・青年教育の充実に努
めて参ります。

② 活力ある持続可能なま
ちを創るうえでも青年世
代は非常に重要な存在と
認識しています。日野町の
まちづくりや社会教育を
通じて培われてきた青年
活動。その実績も踏まえて
成長段階での「縦のつなが
り」を意識し、青年・若者が
希望を持って生きていけ
るまちを目指します。



▲第72回滋賀県青年大会スタッフ

問 「人とまちを結ぶ」日野駅と商いのこれから

答 近江日野商人の魅力を最大限に活用した取り組みを進めます

問 「まちの玄関口」
である近江鉄道日
野駅。設立当時、地元住民か
らの陳情活動や駅舎改築保
存のための予算計上、ふる
さと納税制度やクラウドフ
undingの取り組み。
カフェ併設の観光交流施設
「なないろ」のオープンなど
現在も住民の生活を支える
公共交通の要所として機能
しています。その「まちの玄
関口」をすぐ傍らで見守り、
育ててきたのが商店会の存
在です。しかし、人やモノの
流れの変化と町内商店の減
少、地域住民の消費行動は
町外や大型チェーン店等へ
と流出し、地元商業は岐
路に立たされています。早
急な対策が必要である現状
を踏まえて

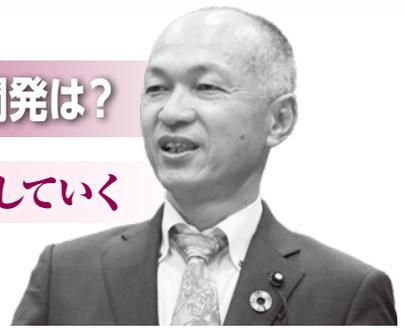
答 ① 長年にわたり多
く方々の生活に欠
かせない存在である日野
駅。歴史の伝承と同時に
新しいものを取り入れ、
交通・交流情報発信の地
域拠点として「心の交流
の玄関」であり続けます。
近江鉄道は公有民営上下
分離方式に生まれ変わり、
継続して快適で安全な輸
送サービス、沿線地域の
活力に満ちたまちづくり
に貢献、持続していくも
のと捉えています。

① 日野駅の存在意義と近
江鉄道の持続可能性は。
② 町内商業の現状と課
題を踏まえたこれからの
ビジョン・アプローチは。



問 堀江町政のまちづくり…若い世代に向けた宅地開発は？

答 大変難しい課題…継続して国や県に緩和を要望していく



やまもと ひでき
山本 秀喜 議員

日野町を含む6町の年少人口・若年人口
(滋賀県ホームページ 毎月人口推計調査より作成)

	令和6年4月1日現在				令和元年4月1日現在					
	年少人口 (15歳未満)		若年人口 (15~39歳)		年少人口 (15歳未満)		若年人口 (15~39歳)			
	人数	割合 (%)	人数	割合 (%)	人数	割合 (%)	人数	割合 (%)		
菱荘町	20,538	2,933	14.3	5,013	24.4	20,891	3,530	16.9	6,000	28.7
多賀町	7,073	970	13.7	1,409	19.9	7,244	979	13.5	1,612	22.3
豊郷町	6,928	936	13.5	1,698	24.5	7,366	1,101	14.9	1,880	25.5
竜王町	11,248	1,353	12.0	2,791	24.8	12,064	1,554	12.9	3,456	28.6
日野町	20,404	2,409	11.8	4,755	23.3	21,155	2,645	12.5	5,331	25.2
甲良町	6,035	621	10.3	1,299	21.5	6,586	804	12.2	1,508	22.9

問 堀江町政の2期
目には、出生数の
低下に歯止めをかけ、よ
り一層子育てしやすい町
を目指して、さらなる「少
子化対策・子育て支援施
策を展開していくと言わ
れていました。

その為には、どのよう
なまちづくりをしていく
のか。私は、新こども園の
建設や幼児教育・保育体
制の整備も無論進めなけ
ればなりません。それ
よりも若い世代の方にと
って、日野町が住みやす
い場所であり、日野町に
住める場所をもっと確保
していくことが求められ
ると考えています。

左上の表は、県内6町
の年少・若年人口です。
甲良町は「住宅開発プ
ロジェクト」を打ち出さ
れており、日野町も「開発
規制の緩和」や「空き家を
活用した賃貸住宅」など、
思い切った施策が必要と
思いますが、町の見解を
伺います。

答 若い世代に向け
た宅地開発につい
て、農業振興地域では「農
業振興地域の整備に関す
る法律」で規制されてお
り、開発の規制緩和にお
いても、町独自で決定で
きるものではなく、国や
県の承認を得る必要があ
り、大変難しい課題です。
継続して国や県に緩和の
要望をしていきます。

空き家のリフォームを
行い、若者向け賃貸住宅
の活用は、他市町の状況
を確認するなど研究して
いきます。今年度は空き
家の実態調査を実施し、
利活用の可能な物件に対
し、空き家バンクへの登
録を啓発する予定です。

問 日野町の環境施策「生ごみ堆肥化事業」について

答 学校給食の残渣と家庭から出る生ごみの堆肥化に取り組む

問 日野町の一般家
庭から出る生ごみ
は、ほとんどが焼却処理
され、その焼却には多く
のエネルギーを必要とし、
二酸化炭素を排出、地球
の温暖化につながってい
ます。「燃やすから生かす、
循環型社会へ」

ここに着目された女性
団体連合会の皆さんは、
令和4年7月から、社会
福祉法人わたむきの里福
祉会の皆さんと共同で生
ごみの堆肥化事業にチャ
レンジされています。
また、この堆肥化事業

は日野中学校、日野小学
校の学校給食の残渣で早
くから取り組まれ、出来
た堆肥は役場入り口で住
民の皆さんに提供され、
「循環型社会」が形成され
ています。この事業を一
般家庭にも広げていこう
としていくものです。

日野中学校および日野小
学校に生ごみ処理機を設
置し、堆肥化に取り組ん
でいます。
一般家庭から出る生ご
みの堆肥化事業について
は、女性団体連合会、わた
むきの里福祉会のご協力
のもと、SDGs実践モ
デル事業として「家庭か
ら出る生ごみの堆肥化に
よるごみ減量」に取り組
んでいます。現在、町内の
約40世帯の方にご協力が
いただき、令和5年度実績
で年間33トンの生ごみが
堆肥に変わっています。

答 学校給食残渣の
堆肥化については、
現在お使いの生ごみ処
理機は、購入から約20年
が経過し、経年劣化によ
り性能が劣っていること
を伺っています。処理機
の更新について初期費用
や維持経費、国や県から
の補助金等、調査研究し
ています。



日野町女性団体連合会の生ごみ回収の取り組み



すでに町の事業として取り組んでいる豊郷町を視察

現在お使いの生ごみ処
理機は、購入から約20年
が経過し、経年劣化によ
り性能が劣っていること
を伺っています。処理機
の更新について初期費用
や維持経費、国や県から
の補助金等、調査研究し
ています。

問 小規模保育所の必要性について

答 待機児童対策・低年齢児からの入所希望増加



まつだ ようこ 議員 松田 洋子

問 ①懇話会最終提言では「地域主導」が強調されています。募集要項では「地域が主導する」という文言をなぜ抜いたのか伺う。

②年々出生数は減っているのに、120名と昨年度より14名も多い人数ですが、増えると考えている理由を伺う。

③出生数120名であれば、0歳児20名・1歳児72名・2歳児78名計170名の0～2歳児の子どもが入所する予定です。現在の公立保育園4園とわらべ保育園2園で216名の0・1・2歳児が入所できることになっていま

す。なぜ小規模保育所が2か所も必要なのか伺う。

④保護者が、町立認定子ども園やわらべ園を希望して、入所が可能な場合であっても、町の判断で小規模事業所への入所を優先する場合がありますか伺う。

⑤町立幼稚園を全廃することについて「日野町子

ども・子育て会議」では、どのような議論になったか。またパブリックコメントを実施したか伺う。

答 ①今回小規模保育事業所の募集について安定した保育所運営を確保しつつ、地域とのかかわりを両立するという視点を持って、事業者の一般公募を実施した。

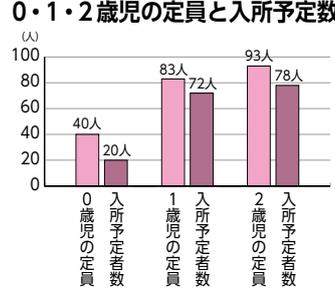
②昨今保護者の保育ニーズは増加しており過少の人数で想定すると、出生数が増加した場合、結果として待機児童が解消できない可能性がある。

③0歳児が40名入所とさまで面積上の入所人数であり、現実的には、年齢ごとに保育室を確保するた

とに保育室を確保するた

とに保育室を確保するた

とに保育室を確保するた



めの建物の構造上の問題があることから、保護者の入所希望に添えることが難しいと想定する。低年齢児からの入所は増加すると考え、小規模保育所も0歳児から2歳児まで入所可能とされるので

問 国民健康保険税の引下げについて

答 財政支援を県に要望し、また、保険者努力支援制度で評価いただけるよう取り組み

問 ①県が査定する統一保険料に合わせれば日野町では、どのぐらい値上がりするのか伺う。

②来年度の国保税の引き上げの有無について伺う。

③日本共産党は、県に対して一般会計からの繰り入れを行って、市町に示す納付金・標準保険料を引き下げを要求しています。県は一般会計からの繰り入れは拒否しています。県は、県議会の承認があれば可能と述べています。そこで、日野町は

県は、県議会の承認があれば可能と述べています。そこで、日野町は

年齢バランスを考慮すると2か所想定している。④兄弟姉妹が同じ園に入所できるように保護者の希望に対応してきた。今後、幼児教育保育施設の再編整備に伴い、保護者の希望に添えるようにする。

答 ①令和6年度ベールでの比較では県が示す標準保険料は13万626円、町の保険料は11万722円で約2万円の差がある。

②保険料水準を令和9年度に統一することとして

いる。令和6年度の標準保険料と町の保険料との間で差が生じているため、保険税の引き上げは避けられない。

③保険者努力支援制度を

⑤「日野町子ども・子育て会議」については、10月初旬に開催し、幼児教育保育施設の再編整備計画を示す。パブリックコメントは実施していない。

活用していくことと医療費適正化等に向けた取り組みを進める。国民健康保険制度の持つ構造的な問題に対しては、国の定率負担の引き上げを県知事に対して要望している。後発（ジェネリック）医薬品の使用割合による医療費の適正化や糖尿病重症化予防による地域包括ケア推進・一体的実施の取組状況に対して国から評価されている。町民の健康への意識高揚を図り、各種検診受診率などを向上させる取り組みを進める。



ゆのき きくお 柚木 記久雄 議員

問 その日 came とき 避難所やボランティアセンターは

答 いろいろなケースを想定し準備を進めている

問 町内には指定避難所が27か所と福祉避難所協定施設が6か所あります。指定避難所の27か所は公民館や小学校のほかには日野高校、大谷体育館、図書館、わたむきホール、虹、幼稚園、こども園、町立保育園が指定されています。

防災用品として公民館が預かるのは非常食程度と聞きましたが災害は雨天時や積雪時、今年のような真夏の高温の日中や、極寒な天候の時に起こるかもしれません。大地震だと橋や道路の不通が発生します。夜間に停電や断水が同時に起こることも予想されます。

答 ① 応急的に食料飲料水、衛生用品、毛布、テント型パーティションを配備している。道路損壊時は輸送経路を優先的に復旧する予定。

② 防災倉庫に5台を準備。③ 町が保有する発電機を避難所に移送する。④ 勤務時間中は補助業務に当たってもらう想定をしている。時間外は正規職員が対応する。⑤ 訓練している。さらにより具体的な運営計画を策定中である。

問 今後の消防団加入者のために

答 団員の負担軽減や処遇改善に努める

問 消防団を取り巻く全国の流れを見ていると、自分の余暇時間を大事にしたい、家計のため仕事を優先せざるを得ない方が多くおられ、多くの地域で新入団員獲得に苦労されておられます。日野町においても「消防団に入らなくてもよい地区に住む」という選択をする方がおられるようです。全国でも岐阜県飛騨市のように実践的な訓練を増やしながらも負担軽減を図り団員確保の成果を上げている事例がよく紹介をされています。残念ながら一定のマイナスイメージが存在している消防団の予備軍が先細っているように感じます。そこで何点か質問します。

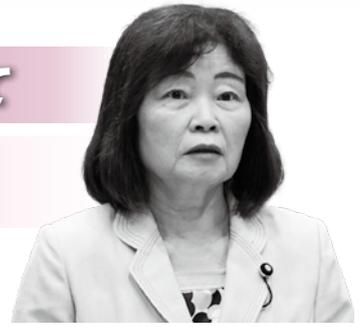
① 定員は185人と条例で決まっているが見直しの状況はどうか。

答 ① 有事の対応や団活動を鑑み、平成二年に現在の定数185

② 各分団の団員数はどのようになっているのか。③ 各分団のエリア人口を考えたとき分団定員のバランスはとれているか。④ 町外転出者の補充はその都度に行われるのか。⑤ 新入団者を探さないと退団できないということはあるか。⑥ 運転免許が細分されている。普通免許で乗れない大きな車両も考えられるが、免許取得者への補助金は制度としてあるか。⑦ 報酬等の支払方法は。⑧ 各地区公民館事業でも警備活動や様々に活躍していただいているが手当の対象か。⑨ 各種訓練の実施状況は。⑩ 女性団員の状況は。⑪ 団員獲得のため、今後への思いは。⑫ 人となった。⑬ 消防団規則により協議を行い、第1分団59人、第2分団47人、第3分団70人と幹部9人で構成されている。⑭ 課題であると認識している。活動は分団区域を越えて実施している。⑮ 翌年度の入退団時で調整している。⑯ 強制されるものでなく、ご本人の意思を尊重する。⑰ 補助制度はないものの該当する事例はない。⑱ 口座振込している。⑲ 消防団活動には支払いを行う。⑳ 年間を通してそれぞれ目的をもった訓練・研修を実施している。㉑ 現在は無いが希望者があれば入団いただく。㉒ 地域のご苦勞も理解した上で団員の負担軽減や、処遇改善の為、一層の調査研究を行う。

問「マイナンバーカード」「マイナ保険証」について

答 「マイナンバーカード」申請サポートや「マイナ保険証」の利用案内を行っている



中西 佳子 議員

問 日野町は「マイナンバーカード」

の保有率が低い状態です。そんな中「マイナ保険証」を基本とする仕組みに移行していきます。「健康保険証」を廃止し「マイナ保険証」へと円滑に移行するには住民に制度への不安や誤解がおこらないように、正しい情報提供が必要です。

答 ①まだ申請をされて

いない未取得者全員に対し、取得を促す通知を送付させていただいた。取得支援については、施設等にご希望があれば職員が出向き、申請サポート支援を行ってきたい。

②メリットの1点目は、

過去に処方されたお薬や特定健診などの医療情報を初診でも医師・薬剤師に共有でき、データに基づくより良い医療が受けられる。また災害等発生時には、マイナンバーカードを紛失等した場合でも、患者の口頭同意で医療機関・薬局は保健資格情報・医療情報を閲覧することができる。

問 認知症の人に寄り添った社会の構築について

答 国と自治体を含めて更なる取り組みを進める

問 社会の高齢化が進む中で、誰もが

なりえる認知症について、自分ごととして身近な問題と捉えることが大切です。今後も認知症の人も家族も安全に安心して暮らせる地域の構築への取り組みを伺う。

答 ①認知症になって

も住み慣れた地域で希望をもって自分らしく暮らし続けることができるという「新しい認知症観」については、取り組みの中で、大切にしてきた。認知症当事者の視点に立った居場所づくりを目指して取り組んでいる。

②認知症サポーター講座の更なる展開や「新しい認知症観」への啓発等、町の取り組みは。

②認知症キャラバンメイト連絡会の中で、検討事項とされており、今後キャラバンメイトや認知症サポーター、認知症当事者の皆さんと課題を共有しながら、検討していきたい。



③町では、12月の保険証廃止とマイナ保険証を基本とする仕組みの移行に向けて、国民健康保険、後期高齢者医療保険、その他被用者保険などの各医療保険者や医療機関等が利用促進に取組みを進めていくものと考えている。国民健康保険の保険者である町も被保険者に対して、7月の保険証更新時にマイナ保険証の利用促進チラシを送付した。

③「あたまの健康チェック」は、タッチパネル式や対話式のテストにより認知機能を確認できる。県内他町でも導入されており、活用の検討をしたい。



問 「質・量ともに子育てしやすい町」など 町長2期目の公約について伺う



答 相談体制の充実と地域の子育て支援活動との連携強化



かとう かずゆき
加藤 和幸 議員

問 町長は2期目のスタートにあたって「少子化対策や自治会活性化など持続可能なまちづくりをめざす」とあいさつされた。

多くの市町が子育てに力点を置いている中で、(1)日野町が「質・量ともに子育てしやすい町」としてアピールするポイントを伺う。

(2)「結婚したい」「子どもがほしい」と思っても経済的な困難や長時間労働など「働き方」の問題が大きい。町長の少子化対策にこういった視点はあるか。

(3)役場内や地域社会におけるジェンダー観の遅れということが問題になる。女性管理職の少なさ、議会の同意を要する委員への登用が、今年に入って11人中10人男性で、前回より女性が5人も減。区長は相変わらず男性ばかり。これらは共通する土壌であり、子育て施策と関連する町長のジェンダー

観を伺う。

答 (1)4月に「日野町こども家庭センター」を設置。母子保健事業と児童福祉事業が連携し、子育て全般に対する相談、児童虐待や貧困、ヤングケアラー問題などに対応。つどいのひろば「ぽけっと」、わらべ地域子育て支援センターなど

「切れ目のない相談体制」の充実と地域の子育て支援活動との連携強化を両輪に子育てしやすい町をめざす。

(2)わが国では同一労働での男女賃金格差などがあり、ジェンダーギャップ指数は146カ国中118位である。町内の事業所に状況を伝え、ワークライフバランスの推進をはたらきかけたい。

(3)女性の早期退職の背景には家庭と仕事のバランス、職責への負担感などがあると推測、問題意識を持っている。ジェンダー平等が進むことで安

問 バス路線化断念後の通勤対策は進んでいるか わたむぎ自動車プロジェクトについて(その8)

答 ワーキンググループで協議している

問 調査準備以来3年が過ぎた。

(1)通勤バス実証実験の

中途断念などがあり、プロジェクト全体の達成度等はどうかしているか。

仮にプロジェクトという形式がなくなった場合、「推進協」組織や補助金はどうなるか。

(2)通勤バス路線化断念により、その後通勤対策はどうなっているか。

(3)「そもそも論」になるが、公共交通を赤字か黒字かに焦点化して判断するのは日本だけと言われている。

「交通とは何か」という根本がないと結局採算

心・暮らしやすい家庭や地域につながる。啓発や学習の機会を通じて、理解の促進に努めたい。

性になってしまいう危険がある。これについて町長の考えを伺う。

(4)「チョイソコ」で指摘される問題点について

①甲賀病院からの復路に利用できない理由は、甲賀市内の同様業種との調整と町外配車による時間的ロスの大きさを挙げて

おられたが、これらの理由は克服できないか。

②運転手の労働環境(休憩時間、安全等)は保障されているか。車の稼働

はどの程度か。

③桜谷地域への導入が発

表されたが、導入にあたって住民との真摯な話し

合いが不可欠と思うが、

当局の考えを伺う。

いない。チョイソコの満足度は86%。事業は地域公共交通計画に位置づけられており、引き続き努めたい。

(2)通勤バスワーキンググループで協議している。

(3)引き続き地域公共交通の利便性向上に取り組みたい。

(4)①広域的な地域公共交通を議論していく必要がある。

②法令により保障され、徹底できている。

③停留所の確定後に住民説明会を実施予定である。

答 (1)達成度を示す指標はなく、CO₂削減量は目標値に達して



問 6月から「働き方改革」は進んでいるのか

答 簡単な内容から少しずつ達成していくように進めている



谷口 智哉 議員



問

前回の答弁の中で「生きがいを持

って生き活きと働き続けることはとても大切なことで、そのために働き方・業務改善推進本部を立ち上げた」とありましたが、その立ち上げから早一年、また昨年12月の一般質問内では町長より「業務改善には職員の負担軽減も含まれている」と確認もとれました。

答

①業務の見直しや再配分を進め、その一つとして「ペーパーレス化」に取り組んでい

きます。また、自分ができるところで、自分ができるスモールステップについても意見交換を行い、LOGOチャット(庁内で使用するLINEのようなもの)を活用する。職員間や住民さんからの報告は紙ではなくLOGOフォームの活用を検討する。庁内メールのテンプレートを考えて、送信する際にはそのテンプレートを活用する。といったものを試験的に運用していきます。

問

「保育者の在り方検討懇話会」ではいろんな切り口で様々な方からの意見聴取のためのワークショップが開催されましたが、今回は保育者ワークショップについて伺います。

①保育者を対象としたワークショップはどのような内容で行いましたか(回数、形式、延べ参加人数)。
②労働環境や条件についてはどのような意見がありましたか。意見全体として占める割合は多い方でしたでしょうか。
③園の再編成と同時に、

「保育に専念できる環境づくり等に取り組みたい」

問

「日野町幼児教育保育の在り方検討懇話会」ではいろいろな切り口で様々な方からの意見聴取のためのワークショップが開催されましたが、今回は保育者ワークショップについて伺います。

保育者の環境の再整備も検討されているのでしょうか。

「保育士不足」や「長時間保育ニーズの増加」などから、労働環境における様々な課題が出されました。

答

①保育者の勤務時間等の関係から計

5回に分けて開催し、公立立からのべ107人のご参加を頂きました。

④職場環境や人員配置の改善に関しては議論を進めていますが、現在のところ具体的な内容までは定めていません。保育者や保護者、子供が安心できる環境づくりを進めてまいります。

②保育者のワークショップにおいては「どのような保育をしたいか」等を行うために何が必要か」について意見交換いただきました。

現場の保育者等は、よりよい保育のため懸命に努力いただいております

③園の再編成と同時に、もらえる職場づくりが大

事、これをやったから終わりではなく、ずっと考えながら働き方改革に取り組みしていきたいと考えています。



問 文化財の保存活用に広く利用できる基金の創設を

答 策定中の文化財保存活用地域計画を実効性のあるものにしていくためにも、早速研究に着手する



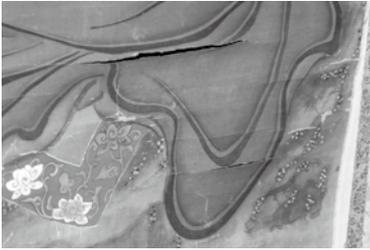
ごとう ゆう き
後藤 勇樹 議員

問 本年度は日野町文化財保存活用地域計画の策定最終年度にあたりますが、現行の文化財保護基金は対象とする文化財、その用途などが限定的です。未指定文化財の修復や、文化財に関連した町の活性化などにも利用できる「文化財保存活用基金(仮)」のような新たな基金を創設できないものか伺います。

答 現行の文化財保護基金は昭和60年度に設置された後、平成16年度の旧正野薬店整備事業での使用実績のみで、現在高は774万6千円。現行基金が対象としている文化財は国・県・町の指

定文化財のみとなっている。策定中の日野町文化財保存活用地域計画は、指定・未指定を問わず、地域遺産を含む歴史的・文化的・自然的遺産を「文化財」「日野のたから」と定義しているため、議員から指摘を受けた通り、現行の文化財保護基金では、幅広い文化財の保存や活用に関する取組に使用するには、制度的な限界があると感じる。日野町文化財保存活用地域計画を、より実効性のあるものにしていくため、現行基金の改正または新しい基金の創設について、早速、事例研究に着手したい。

策定中の日野町文化財保存活用地域計画は、指定・未指定を問わず、地域遺産を含む歴史的・文化的・自然的遺産を「文化財」「日野のたから」と定義しているため、議員から指摘を受けた通り、現行の文化財保護基金では、幅広い文化財の保存や活用に関する取組に使用するには、制度的な限界があると感じる。日野町文化財保存活用地域計画を、より実効性のあるものにしていくため、現行基金の改正または新しい基金の創設について、早速、事例研究に着手したい。



芝村若河村若河村若河村の作明寺(正明寺)の文化財であるが、修復を望む声も大きい。

問 マイナンバーカードに町独自の機能付加で、利活用促進を

答 役場庁舎や公共施設でのさらなる利活用、地域内経済循環効果等も含め、研究を行っていききたい

問 本年12月2日から従来の保険証の新規発行がなくなり、マイナ保険証一本化の動きになります。日野町のマイナンバーカード取得率は78%、保有率は68.4%です。自治体によってマイナンバーカードを子どもや高齢者の見守り、図書館カード、地域通貨などとして利用しており、暮らしに密着したカードとなっており、まだマイナンバーカードについて誤解をされている住民も多く、県内の他市町よりも普及が進んでいません。マイナンバー制度やマイナンバーカードの正しい知識を伝え、マイナンバーカードをより暮らしに便利なものへとするため、町独自の機能付加などを検討してはどうでしょうか。

答 これまでマイナンバーカードの普及率向上に向け広報・ホームページでの申請案内や町施設、イベント、出前講座等での申請サポートを行ってきた。また8月には町内の未取得者6400名全員に申請案内を送付し、例月の10倍にあたる200名から予約申請を受けた。マイナンバーカードには税や年金関係情報などプライバシー性の高い情報は記録されておらず、マイナンバー制度における情報は国でも一元管理している。マイナ保険証の使い方は、マイナンバーカードは、図書館カード、災害避難所での交付や安否確認、地域通貨等として利用されている自治体もある。他にも多様な活用方法が広がっており、当町でも住宅リフォーム助成金の利用等、地域内での経済循環効果が期待できる、持続的な公共サービスとなるよう、役場庁舎や公共施設におけるキャッシュレス決済も含め、研究していきたい。

マイナ保険証の使い方



- ①リーダにカードをかざす
- ②カメラで顔認証する

食料の確保と農地の保全

答 持続的な農業生産が行えるよう
町内全域での農業振興に努めたい



にしざわ まさはる
西澤 正治 議員

問 7月中旬より連日30度を越える日が続き、地球温暖化が一段と進んだように思われます。連日の酷暑で今後の秋野菜の収穫が不透明な状況です。

8月より米不足の報道がマスコミ等で報じられ、スーパーや量販店で品切れ、入荷待ちの現状で、令和の米騒動と報じられました。

南海トラフ地震臨時情報の発表、収穫期前の品薄感が相まっての現象ではあると思いますが、食料自給率の向上と生産の大切さを身をもって感じました。

日野町においても、集落営農、法人、大規模農家等、様々な経営形態がありますが、農業者の高齢化も進んでおり、農地の管理は十分にできていないのが現状です。

JAより、令和6年産米の「概算金」の発表があり、昨年よりは向上しましたが、生産資材の高騰

の中、これが当然の価格だと思えます。

農地の集積や大規模農家、スマート農業の支援も必要ですが、家族経営も農地を守る一員でもあります。

町の中山間地への農業形態や支援について、どのように考えておられるのか伺います。

答 昨年水稲の作況が平年並みから、やや不良という地域があったことに加え、インバウンド需要の戻りや、南海トラフ地震臨時情報の影響等もあり、夏には米が品薄であるとの報道があった。稲の本格的な刈り取りシーズンを迎え、令和6年産米の作柄と市場での流通動向を注視していきたい。

町内には、中山間地等の様々な条件の農地があり、農業形態も集落営農や法人、家族経営など様々である。中山間地での農業は、平場と比べ条

件が厳しいこともあり、各種制度や事業等を活用いただき、共同活動による取り組みを進めていただくことが大切だと考えている。

町では令和7年度から中山間地域等直接支払制度の対象農用地を50分の1の緩傾斜地に拡大し支援をするほか、地域計画の策定と合わせ、国や県の補助事業の相談を受けている。

持続的な農業生産が行えるよう、中山間地域を含む町内全域での農業振興に努めてまいります。



出前懇談会

日野地区民生委員児童委員との意見交換



議員がお伺いしてご意見をお聴きする出前懇談会に日野地区民生委員児童委員から申込みいただき、7月18日に日野公民館で意見交換を行いました。4グループ(民生委員児童委員5名、議員2名)に分かれて意見交換を行い、答えを出すのではなく現状を知って共有することを目的に行われ「空き家の管理や児童の登下校の見守り等の仕事量が多いので、仕事をしている人にはできないのではないかな。」など、なり手不足についての意見も多くありました。時間が足りないほど活発な意見が出され、再度の開催を希望する声も聴かせていただきました。

日野町議会では、今後も住民の皆さまのご意見を直接お聴きしたいと考えています。出前懇談会の申込み等、詳細は日野町議会ホームページをご覧ください。



日野町議会
ホームページ

次ページは▼ 議員のつづき／議長コラム／編集後記

議員のうごき

(令和6年7月1日～9月30日)

公務名		場所	期間	出席議員
日野小学校6年生議場見学	その他	日野町役場	7月11日	議長、副議長、総務常任委員、西澤
桜谷小学校6年生議場見学	その他	日野町役場	7月12日	副議長、総務常任委員
第74回「社会を明るくする運動」日野大会	その他	日野町林業センター	7月12日	議員全員
議会運営・事務基礎研修会	研修	彦根勤労福祉会館	7月16日	錦戸、福永、谷口、松田、柚木、川東
日野町民生委員児童委員(日野地区)との出前懇談会	懇談会	日野公民館	7月18日	厚生常任委員
通年議会議員勉強会	研修	日野町役場	7月25日	議長、議会改革特別委員
第59回滋賀県消防操法訓練大会出場壮行会	来賓	日野消防署	7月28日	議長、副議長、総務常任委員長、谷口、野矢、西澤
市町村議会議員特別セミナー	研修	全国市町村国際文化研修所	7月29日～30日	福永、谷口、野矢
長野県東御市議会視察受入れ	応対	日野町役場	7月31日	副議長
氏郷まつり「夏の陣」2024	地域交流	日野町役場	8月3日	議員全員
第25回蒲生郡町議会議員研修会	研修	竜王町防災センター	8月5日	議員全員
日野町戦没者追悼式	式典	わたむきホール虹	8月17日	議員全員
初当選議員研修会	研修	日野町役場	8月20日	錦戸
日野町老人クラブ連合会との意見交換会	懇談会	日野町役場	8月21日	厚生常任委員
町内立地主要企業・事業所代表者と日野町長との懇談会	来賓	日野公民館	8月21日	副議長、産業建設常任委員長
滋賀県消防協会日野支部夏季総合訓練	来賓	奥之池地先	8月25日	副議長、高橋、加藤、後藤
第30回日野町長杯親善ゲートボール大会	来賓	大谷公園スポーツ広場	9月5日	副議長
日野町総合防災訓練	来賓	西大路小学校	9月8日	議長、副議長、総務常任委員長
第59回滋賀県消防操法訓練大会優勝報告会	来賓	西大路公民館	9月8日	議長、副議長、総務常任委員長、谷口、野矢、西澤
秋の全国交通安全運動街頭啓発	地域交流	町内	9月21日～30日	議員全員
県道西明寺安部居線改良促進期成同盟会総会	来賓	東桜谷公民館	9月24日	議長、産業建設常任委員長、高橋、後藤
日野小学校運動会	来賓	日野小学校	9月26日	谷口、中西、西澤
第30回全国消防操法大会出場選手激励会	来賓	日野消防署	9月27日	議長、副議長、総務常任委員長、谷口、野矢
桜谷小学校運動会	来賓	桜谷小学校	9月28日	高橋、加藤、後藤
西大路小学校・幼稚園運動会	来賓	西大路小学校	9月28日	野矢、山本
必佐小学校運動会	来賓	必佐小学校	9月28日	錦戸、福永、松田、川東

その他 通常公務として日野町議会定例会・臨時会
一部事務組合(東近江行政組合議会／中部清掃組合議会)
議長公務 7件 などがあります。

全国消防操法大会出場選手激励会

全国消防操法大会に、滋賀県代表として出場される日野町消防団選手に対する激励会が9月27日に行われ、議長はじめ関係議員が出席しました。



おめでとうございます



10月12日に宮城県で開催された第30回全国消防操法大会において準優勝という輝かしい成績を収められました。

議長コラム



議員報酬の

あり方について

議長 杉浦 和人

先の日野町議会議員再選挙で新たな議員をお迎えできたことを大変喜ばしく思います。長らく欠員が続いていた議会も、定数14名が揃い、定例会を迎えることができました。

しかし、これで安心ではありません。10年後、20年後を見据えた担い手確保のための議会改革が必要です。また、議会機能を強化するためにも、子育てや介護の負担を軽減する議会運営や議員報酬の改定など、議員活動と暮らしを両立できる待遇の改革は何より重要です。

議員のなり手不足や欠員は、すぐに町政に影響するわけではありませんが、住民の意見が行政に十分に届かなくなり、町政との距離が広がる恐れがあります。そのため、長期的視点での改革が不可欠です。

一方、全国町村議会議長会においても、議員報酬は各町村議会で判断するものであるが、町長と議員の活動量を比較しながら、議会の重要性を考え、一定の水準を確保することは必要であるとの見解がでています。

各議会で更なる議会改革を進め、議会・議員の活動を豊富化し、住民の理解を得ながら、議員報酬の適正化に向けて取り組むことを7月の町村議会会都道府県会長会で確認いたしました。

日野町議会では、通年議会の導入や広報広聴、ICT、待遇改善を調査研究しています。住民の代表として、町の課題解決に迅速に取り組み、より良い未来を築いて参ります。

12月定例会(本会議)のお知らせ(予定)

12月2日(開会・提案説明)

12日(質疑・一般質問)・13日(一般質問)

25日(採決・閉会)

「議会だより」へのご意見を お寄せください

皆さまからいただいたご意見を反映し、分かりやすく・読まれる議会だよりにしています。

二次元コードを読み取り入力し



てください。また、メールや手紙、ハガキ等でもご意見を受け付けています。宛先は、裏表紙の下をご覧ください。

編集後記

町議会9月定例会は、空席となっていた1名

の再選挙を7月に終え、14名の議員がそろった中で開催されました。議長を除くすべての議員が、一般質問に立ちました。一般質問とは、議員の日常活動と調査・研究、住民の声や自身の考え方をともに、執行側(町長や教育長など)に事務の執行状況や方針、課題などを問うものです。議員にとっては、公約実現のための貴重な機会となります。「議会だより」で、各議員の思いや執行側の答弁をお伝えし、町民の声を町政に反映したいと思っています。皆さんのご意見やご感想をお待ちしています。

川東 昭男

議員公務の一部を 紹介するにゃん



蒲生町公認議会公認キャラクター
がもにゃん



日野町老人クラブ連合会との意見交換会

懇談会



日野町議会では町内の各種団体との意見交換を積極的に進めており、今回は厚生常任委員会が8月21日に日野町老人クラブ連合会の皆さまと意見交換会を行いました。はじめに井澤善雄会長から活動概要の説明を受け、現在3地区28クラブと個別加入された地区外4クラブと個人会員の皆さんで活動されていることを伺いました。町を良くしたいとの願いを共有しました。

通年議会勉強会、蒲生郡議長会研修会

勉強会



7月25日に滋賀県市町振興課中西課長を講師に迎え、滋賀県議会で実際に運用している通年議会に関し議員全員で学びました。また、8月5日には蒲生郡議長会研修会が竜王町で開催され、議会運営の在り方について学びました。



戦没者追悼式

式典



8月17日にわたむきホール虹にて戦没者追悼式が執り行われました。太平洋戦争に従軍し戦死された英霊に哀悼の誠を捧げ、私たち議員もご遺族や日野青少年少女合唱団をはじめ多くの町民の方とともに献花し黙とうしました。ご遺族の高齢化が進むなかですが、平和の尊さと戦争の遺したものを後世に伝えるためにも、大切な追悼式は受け継がれなければなりません。

日野町議会広報

日野町議会 議会だより

◆発行/日野町議会 ◆編集/議会広報常任委員会

〒529-1698 滋賀県蒲生郡日野町河原一丁目1番地

☎0748-52-6551 Fax0748-52-2044

メールgikai@town.shiga-hino.lg.jp



「議会だより」に関するご意見募集中！書式は問いません。郵送・メールまたは議会事務局までご持参願います。